

モザンビーク国クアンバーマンディンバ及びマンディンバリーシंगा道路事業準備調査  
スコーピング案 助言

**全般**

1. 地域開発計画策定の際には、道路事業が周辺コミュニティに裨益するよう、計画段階から地元コミュニティの参加を促すことが望ましい。
2. ナンプラークアンバ間道路事業の結果を適宜参照し、特に交通需要、環境基準、走行速度について、隣接区間との整合性を十分確保することが望ましい。

**代替案検討**

3. 設計速度や車線幅員に加え、路肩幅についても代替案を検討することが望ましい。また、バイパス設置に関して詳細な代替案検討が計画されていない理由を示すことが望ましい。

**スコーピング案・調査方針**

4. 橋梁建設に伴う土地変更の影響が考えられる項目については、評価をBまたはCとすることが望ましい。
5. 「水系・流況」については、橋梁建設や道路の舗装化による水文・地下水への影響等を検討することが望ましい。
6. 墓地やサンクチュアリは、自然・環境の重要な特徴として、十分に配慮することが望ましい。
7. 河川沿いの植生が、野生動物の生息及び移動ルートとして重要と考えられることから、特に Lugenda 川横断部の橋の設計では、河畔植生をできるだけ残すよう配慮することが望ましい。

**住民移転**

8. 本件へのモザンビーク国住民移転政策枠組みの適用可否について明らかにすることが望ましい。
9. ナンプラークワンバ間道路事業における住民移転の手続きや補償内容等の要点を記載するとともに、住民からの苦情の有無について調査することが望ましい。

**アフリカゾウの移動回廊**

10. アフリカゾウの移動回廊は「マイナールートである」との記述があるが、マイナーと判断する理由について、専門家へのヒアリング及び既存調査等に基づき記述することが望ましい。
11. アフリカゾウの移動回廊への影響については、動植物局を含めた専門機関・専門家へのヒアリングを行うことが望ましい。
12. アフリカゾウへの影響に対する緩和策は、まず影響自体の回避を検討した上で、移動ルート自体が影響を受ける可能性も考慮し、ゾウによる人間への被害対策だけでなく、ゾウの保護という観点からも検討を加えることが望ましい。

**EIA の ToR**

13. スコーピングにおける各項目の評価を見直すとともに、スコーピング結果の TOR への反映を明確にすることが望ましい。

以上